

福祉委員スキルアップ研修



平成30年9月1日(土)、県自治会館において市社協と共催で福井県立大学の吉弘淳一准教授による福祉委員スキルアップ研修「楽しみながらかわる支援のあり方」を開催し、129名の福祉委員さんの参加がありました。

初対面の人に対して苦手意識を持たない方法は相手の良い所をさがすこと、相手をほめること、また、相談された時はマイナスの言葉をプラスの言葉に変換して返すことなど、人と関わり



初対面の人に対して苦手意識を持たない方法は相手の良い所をさがすこと、相手をほめること、また、相談された時はマイナスの言葉をプラスの言葉に変換して返すことなど、人と関わり



見守り活動に関する研修会 (コーディネーション研修) を開催しました



平成30年8月9日(木)、京都光華女子大学の石井祐理子教授を講師に、見守りや地域福祉活動全般についての「住民参加を高めるためのコーディネーション研修」を行いました。地区社協からは66名の参加がありました。

コーディネーションとは聞きなれない言葉ですが、立場や状況が異なる人々や組織の間に新たなつながりをつくり、対等性を考慮しながら調和・調整する考え方で、普段の地区社協活動の中で、実はすでに実践しているものです。

コーディネーションの必要性や地域の様々な力をつなぐ手法についての講義を受けた後、グループにわかれ「コーディネーターとしての心得10カ条」を作成しました。困りごとを聴くために心がけていることや、地域で一緒に活動する新しい人材を見つける心がけについて共有しました。

参加された皆さんからは「自分の活動が地域のためになっていると再認識できた」「今回の研修を励みにこれからも頑張りたい」など、前向きな感想がたくさん聞かれました。

地域での見守り活動等に参加する仲間を増やすため、今後は地区社協単位でもコーディネーション研修を広めます。



【コーディネーターに必要な心得 10カ条】(抜粋)

1. 自分から声かけ、挨拶
2. 情報収集・情報共有(行事に積極的に参加)
3. 守秘義務
4. 一人で抱え込まない
5. 専門機関との連携
6. できること・できる時間に少しずつ
7. 55歳(リタイア前)頃に声かけ
8. うそは言わないけど全部は言わない
9. 感謝と仲間づくりで人生の品質向上
10. 自分の地域は自分で守れる

連絡会を開催しました

平成30年1月28日(月)、福井県県民ホールにて地区社協役員等約150名が参加し、1月連絡会を開催しました。

今回は、地区社協の方々の中で関心の高まっている「こども食堂」について研修を行いました。市内でも食堂を開催している「ひまわりキッチン」(明新地区)と「ほっとルームあすわ」(足羽地区)に取組内容を発表していただき、市社協からも食堂について、全国的な傾向や概要の説明がありました。



ひまわりキッチン



ほっとルームあすわ

されることも食堂の活動に対し、地区社協として協力できることが何かを考える機会となりました。その後の年賀会では、各地区同士の交流がにぎやかに行われました。

ふくし広報コンテスト2018 受賞おめでとうございます!



湊地区社協の広報紙「ふれあいみなと」が県社協主催のふくし広報コンテスト2018において、審査員特別賞「まち・ひと笑顔賞」を受賞しました!

- ・表紙にも情報をふんだんに盛り込み、限られたページ数ながら充実している
- ・各種事業のお知らせなどを分かりやすく紹介している
- ・身近な情報を発信している
- ・地区社協の役割をしっかりと伝えている

という点が評価されたそうです。

みなさんも素敵な広報紙を作成し、地区社協情報をどんどん発信していきましょう。